「第六期RIETI PC-LANサービスの調達に係る仕様書（案）」に対する意見募集への回答

2025年7月29日

No.	資料名称	頁番号	項目	種類	意見	理由	意見者への回答
1	要件定義書	7	表５　機能の主な変更点	修文せよ	「フォルダ構成やアクセス権限を維持する形でBoxへ移行すること。」 に関してウォーターフォール型でアクセス権の継承を行う仕様であるため同様のアクセス権の付与が実現できれば多少のフォルダ構造の変更が生じても問題ないと考えて良いでしょうか。	現行のファイルサーバと完全一致のフォルダ構造やアクセス権限の付与が難しいケースも生じると考えるためです。	ご認識のとおりです。 ご意見を踏まえ、要件が明確になるよう要件定義書を修正いたします。
2	要件定義書	7	表５　機能の主な変更点	修文せよ	「フォルダ構成やアクセス権限を維持する形でBoxへ移行すること。」 に関して「フォルダ構造」のフォルダルートとして、共有ドライブ等以外に法人文書を管理するルートフォルダ構成も必要でしょうか。必要であれば追記をお願いします。 例として、記録用フォルダ領域は電子決裁システム経由でのアクセスとされているケースが多く、作成途中のファイル等の法人文書は検討中フォルダ領域上で操作されるケースもございます。検討中フォルダ領域については、部門共有フォルダと別で作成するケースもありますので、必要であれば要件としても含めて頂いた方が共通認識が取れるかと思います。	要件の明確化のためです。	原案のとおりとします。 フォルダ構成については、現行ファイルサーバの構成と同様です。 現行ファイルサーバでも法人文書は格納されているため、要件定義書(案)「閲覧文書」項目のとおり、公告期間中に限り現行RIETI PC-LANサービスにおける資料をご確認いただくことが可能ですので、確認後適宜構成をご検討ください。
3	要件定義書	22	(5)クラウドサービス等によりサービス提供する場合の要件	その他	「イ.クラウドサービスを提供するデータセンターは地理的に分散し、データセンター自身の冗長化が図られていること。ただし、データセンターが単一の場合でもサービスの冗長化が図られており、稼働率が99.99%を保証し、…」の要件に関して、データセンターは地理的に冗長化を行っていれば、「ただし」以降の99.99%は満たすことは必須ではないと理解して問題ないでしょうか。	SaaS型のクラウドサービスは最低99.9%のアップタイム率を達成すべく商業的合理的な努力を払う形態のSLAが多く、99.99%を保証することは難しいサービスも出てくると考えるため、要件の解釈の確認となります。	データセンターを地理的に冗長化していたとしても、指定された稼働率を保証することは必須です。 ただし、99.99%の保証が難しいサービスも多く存在するため、その旨を要件定義書に反映いたします。
4	要件定義書	24	表14 利用者数	その他	調達仕様書P9「表2-1　構成サービス調達内容一覧」でオンラインストレージの数量が130となっていますが、利用者数と数量が一致しません。数量に誤りがない場合は問題ないですが、誤りがある場合見直しをお願いします。	要件の明確化のためです。	要件定義書（案）3.3(2)表14はあくまで同時利用者数の想定でございます。オンラインストレージのライセンス数量は130で問題ございません。
5	要件定義書	2	別添1 No.29	修文せよ	「ユーザ・グループによるアクセス制御及び容量制限を行うことができること。」の要件に関して、ユーザ・グループではなく、フォルダ所有者（親ルートフォルダ）単位で容量制限を掛けることで本要件は満たすと考えて問題ないでしょうか。 なお、容量無制限で利用できるサービスであれば容量制限は不要となるケースもあるため、不要の場合は文言の修正又は追記をお願いします。	要件の明確化のためです。	ファイルサーバについては、フォルダ単位またはユーザー単位での容量制限が可能であることを求めています。 なお、容量無制限で利用できるサービスについては容量制限は不要のため、要件を修正いたします。
6	要件定義書	2	別添1 No.30	その他	「ボリュームシャドウコピー（スナップショット）でのバックアップを行うことを可能とすること。」の要件に関して、ファイル単位で版管理を行い、過去バージョンの閲覧や復旧等が行うことができれば本要件は満たせると考えて問題ないでしょうか。	オンラインストレージに関してはクラウドサービスプロバイダ側でデータのバックアップ処理等を実施しており、利用者や管理者ではスナップショットのようなバックアップが操作できないサービスもあります。 オンプレミスと異なりスナップショットによるフルバックアップではなくファイル単位で履歴を残すサービスもあるため認識の齟齬が無いか確認です。	ご認識のとおりです。 ご意見を踏まえ、要件が明確になるよう要件定義書を修正いたします。
7	要件定義書	2	別添1 No.33	その他	「クライアントPCとファイルサーバに対する操作ログを取得し、ログデータを保存する機能を有すること。」に関して、オンラインストレージを活用する場合は、アカウント単位でオンラインストレージ上での操作ログが取得できれば問題ないでしょうか。	オンプレミスとオンラインストレージでは操作ログの取得に関する考え方が異なるため要件の確認となります。	ご認識のとおりです。 ご意見を踏まえ、要件が明確になるよう要件定義書を修正いたします。
8	要件定義書	1	別添9	その他	「オンラインストレージサービス」に関して業務時間の99.9%以上が目標値となっていますが、一般的にクラウドサービスは365日24時間で99.9%以上の稼働率目標を立てているサービスが多いです。通年で約8.76時間内の停止であれば問題ないと考えて良いでしょうか。	要件の明確化のためです。	ご認識のとおりです。
9	調達仕様書（案）	6	1.8(1)	修文せよ	組織人数の減少に伴うライセンス費用の見直しにつきましては、ライセンスの契約形態に依存する部分がございますため、一律に変更可能とは限らない点、あらかじめご了承いただけますでしょうか。	ライセンス契約形態に関係するため。	原案のとおりとします。 該当項目は、人数の減少に伴うライセンス費用の見直しを目的としたものではありません。 契約中のサービスにおいて、料金の変更や為替変動等により大幅な値上げが発生した場合に、契約事業者から値上げ等の申し出があった際に協議に応じることを想定した内容です。
10	調達仕様書（案）	42	11.2	修文せよ	「代替品の選定やリスク低減策の実施」に関する記載につきまして、当該対応が入札時点で求められる事項なのか、あるいは落札後の契約履行段階での対応を想定されているのかご確認をいただけますでしょうか。	入札時の話だとすると、この場合には入札金額の変更を許容するということでよいのか確認をしたいため。	入札参加表明書提出時点求める事項となります。「別紙5　機器等リスト」の提出後、調達機器に変更が生じた場合、代替品選定等の準備期間を鑑み、早めのご提出をお願いいたします。 なお、ご意見を踏まえ、提出時期について調達仕様書を修正いたします。
11	調達仕様書（案）	46	11.6　サ	修文せよ	翌年度から起算して5年間保管とあるが納品物として納品するものなので受託者が保管するのはリスクだと考えられますのでご確認をいただけませんでしょうか。	基本的に納品物として納品するものなので、受託者が保管するのはリスク観点からもNGとなると思われるため。	原案のとおりとします。 当研究所が本業務において要求する成果物は、納品物そのものではなく、業務遂行過程における記録および帳簿類です。これらは、業務終了後においても、万が一トラブルが発生した際に、双方の利益を保護する根拠資料となるため、適切な保管をお願いいたします。
12	要件定義書	59	1.3（2）ア	修文せよ	一行上に「原則24時間」との記載がございますことから、サービスの利用時間につきましても、同様に原則24時間対応ではないでしょうか。ご確認のほどよろしくお願いいたします。	文言の矛盾が生じており修正が必要だと考えるため。	ご認識のとおりです。 ご指摘を踏まえ、要件定義書を修正いたします。
13	要件定義書	70	2.1（３）イ 表７ syslogサーバ	修文せよ	現状の運用状況を正確に把握するため、ジョブ本数をはじめとする具体的な稼働情報をご提供いただけますでしょうか。	crontab以外を推薦するかの判断に必要なため。	原案のとおりとします。 要件定義書(案)「閲覧文書」項目のとおり、公告期間中に限り現行RIETI PC-LANサービスにおける資料をご確認いただくことが可能です。つきましては、該当の内容について、公告期間内にご確認いただきますようお願いいたします。
14	要件定義書	79	3.2（５）カ	要求水準を下げよ	クラウドサービスの継続提供を保証する旨の記載につきましては、AWSやAzure等の第三者クラウド事業者を利用する場合、サービス提供の継続性を受託者が保証することは契約上困難であると考えられます。また、代替設備の提供を受託者の責任で行う旨の記載につきましても、クラウド事業者以外の立場では、代替環境の確保や切替を保証することが現実的に難しいと考えます。これらの要件が厳格に適用される場合、クラウド事業者自身でなければ提案が困難となる可能性があるため、要件の柔軟な運用や協議による調整の余地についてご検討いただけますでしょうか。	クラウド事業者自身でなければ提案資格を満たさないこととなり、提案の機会が著しく制限される可能性があるため。	ご意見を踏まえ、要件定義書を修正いたします。
15	その他	159	別紙7 No.１	修文せよ	対象となる利用ブラウザを示していただけませんでしょうか。また、操作手順書の作成とさせていただけませんでしょうか。 Google Chrome や Microsoft Edge 等、利用中のブラウザを把握することで、手順書の内容をより明確かつ実用的なものとすることが可能と考えております。	利用しているブラウザを把握するため。	ご意見を踏まえ、該当箇所を修正いたします。
16	調達仕様書（案）	7	1.9.の(2)	その他	運用期間が60か月となっておりますが、構築期間にもライセンス費用が発生するため、構築期間分のライセンス購入の考慮が必要となります。 構築開始を令和8年度4月とした場合、通算で66か月分のライセンス購入となりますが、ライセンスによっては年間契約でしか対応していない製品も存在するため、6年分での購入となる事より、余分な期間が発生してしまいますが、問題ございませんでしょうか。	認識に相違ないか確認するため。	構築期間分のライセンス購入については問題ございません。 ただし、構築期間全体を対象とするのではなく、あくまで構築に必要な最低限の期間分のみをご購入いただくようお願いいたします。
17	調達仕様書（案）	8	2.2.の表1の項番1	修文せよ	契約期間は1月からとなっておりますが、契約締結日が2月頃となっております。契約締結日1月頃、契約期間2月からの誤りではないでしょうか。	契約期間を明確にするため。	ご指摘を踏まえ、調達仕様書を修正いたします。 契約締結日：令和8年1月上旬 契約期間：契約締結日～
18	調達仕様書（案）	9	2.4.の（1）の表2-1の項番13	修文せよ	暗号化の数量が165とし、デバイス数での換算となっておりますが、現在想定しているサービスではユーザ数で換算するため、200ライセンスの購入を想定しております。こちらについて、ライセンス形態によって数量が変更となるため、構築上必要数分に修正していただけないでしょうか。	導入する製品のライセンス形態によって数量が依存するため。	ご意見を踏まえ、調達仕様書を修正いたします。
19	調達仕様書（案）	10	2.4.の（1）の表2-2の項番32,38	その他	CMS、ReIMSの数量が１となっておりますが、現行のシステム構成では2台の認識でございます。 次期では冗長化をしない想定でしょうか。	認識に相違ないか確認するため。	ご認識のとおりです。 ご指摘を踏まえ、調達仕様書を修正いたします。
20	調達仕様書（案）	10	2.4.の（1）の表2-2の項番39	その他	基幹システムサーバとはどういった機能を搭載したサーバでしょうか。	現行のシステム構成図からも把握できず、作業範囲を明確化するため。	不要な項目のため、記載を削除いたします。
21	調達仕様書（案）	10	2.4.の（1）の表2-2の項番41	修文せよ	パッチ配布サーバ（Linux）の数量を構築上必要数分に修正していただけないでしょうか。	現在想定しているシステム構成ではパッチ配布サーバ（Linux）のため。	原案のとおりといたします。 現行（1台）からの変更は想定していません。

22	調達仕様書（案）	11	2.4.の（3）の表2-3 の項番7,12	その他	No.7 暗号化対応ソフトウェアとNo12.暗号化ツールの違いは何でしょうか。	要件を明確にするため。	ご意見を踏まえ、要件が明確になるよう調達仕様書を修正いたします。
23	調達仕様書（案）	12	2.4.の（3）の表2-3 の項番29	修文せよ	サーバCAL（Client Access License）のクライアント用の数量が100程度となっておりますが、サーバCALのライセンス形態上、デバイス数またはユーザ数での換算となるため、数量を構築上必要数分に修正していただけないでしょうか。	ライセンス形態上デバイス数またはユーザ数での換算となるため100程度では足りないため。	ご意見を踏まえ、調達仕様書を修正いたします。
24	調達仕様書（案）	19	4.3.の(3)のエ	その他	ランニングコスト試算表の記載粒度について、ご教授願います。 また、試算表で想定されるフォーマットはございますでしょうか。 算出方法として、要件定義書P49 表31 主な運用作業一覧を参考に作業単位での作成とし、それぞれの工数、費用を算出する事を想定しております。 合わせて、各種機能に係るソフトウェアライセンス、クラウドサービスの利用額を記載するようなフォーマットを想定しております。	認識に相違ないか確認するため。	フォーマットの指定はございませんので、任意の様式にてご提出ください。
25	要件定義書	5	2.1.の(1)の表4	その他	分類：運用管理 のサービス機能概要の一覧に「動作検証サーバ提供サービス」の記載がございますが、検証サーバを新たに設置することを想定されていますでしょうか。 現行のシステム構成図では検証サーバは存在しない認識でおります。	認識に相違ないか確認するため。	検証サーバを新たに設置することは想定しておりません。 ご指摘を踏まえ、要件定義書を修正いたします。
26	要件定義書	7	2.1.の(2)の表5の項番15	その他	BOX移行に伴い、ファイルパスが変更される認識でございます。 仮にユーザ様にてファイルパスを用いてマクロを利用していた場合、利用できなくなってしまいますが、こちらのユーザ影響は問題ございませんでしょうか。	認識に相違ないか確認するため。	ご意見については了解しており、問題は無い認識です。
27	要件定義書	8	2.1の（3）のイの表7	その他	以下のような文言を追記いただけないでしょうか。 ■記載案 ・PostgreSQLのデータバックアップは日次で取得 すること。 ・バックアップは必要期間を保持し、それ以外の期間は 削除するようローテートする仕組みを導入すること。	電子決裁システムサーバの運用の効率化を図るため。	原案のとおりといたします。 なお、貴社において記載の要件が効率的であると判断される場合には、ご提案いただいて差し支えありません。
28	要件定義書	10	2.1の（3）のイの表7	要求水準を下げよ	研究員用クライアントPCにおいて、重量(900g以下）、最大クロック数(5.2Ghz以上）の要件を以下のように変更いただけないでしょうか。 重量：990g以下 最大クロック数：4.8GHz	要件に完全に沿うPC端末の販売機種がなく、各ベンダ製品を検討するためにも要件緩和をいただきたいため。	ご意見を踏まえ、要件定義書を修正いたします。
29	要件定義書	11	2.1の（3）のイの表7	要求水準を下げよ	キーボードの要件を下記のように変更いただけないでしょうか。 ・キーボード（日本語）は日本語配列のキーボードであること。 ・キーボード（英語）は英語配列のキーボードであること。	市場に基準となる規格が複数存在しており（OADG/JIS/ANSIなど）各ベンダ製品を検討するためにも要件緩和をいただきたいため。	ご意見を踏まえ、要件定義書を修正いたします。
30	要件定義書	12	2.1の（3）のイの表7	その他	機器名：Oracle用サーバについて、現行利用製品にバックアップアプライアンスである「Arcserve UDP 8220-6」と明記されていますが、記載内容に問題ございませんでしょうか。	認識に相違ないか確認するため。	誤記となります。 ご指摘を踏まえ、要件定義書を修正いたします。
31	要件定義書	14	2.1の（3）のウ	その他	「BYOD端末の管理サービスはMicorosftのIntuneを利用すること」となっておりますが、別添8 RIETI保有ライセンス一覧から見て、現行も導入しているサービスと認識してございます。 次期でのIntuneの作業範囲を明確化させていただきたく、改修や新規デバイス登録などの作業を想定されていますでしょうか。	認識に相違ないか確認するため。	ご意見を踏まえ、要件が明確になるよう要件定義書を修正いたします。
32	要件定義書	14	2.1の（3）のウ	修文せよ	「メールアーカイブサービスにおいて、特定の管理者だけが機関などの条件を指定することで～」 機関は期間の誤りではないでしょうか。	誤記修正のため。	誤記となります。 ご指摘を踏まえ、要件定義書を修正いたします。
33	要件定義書	14	2.1の（3）のウ	その他	メールアーカイブサービスは期間、件名、本文のキーワード検索を行い、保存されているメールを確認する機能と認識しておりますが、こちらで示している「監査報告に関連するログ」とは、メールを示している認識で問題ございませんでしょうか。	認識に相違ないか確認するため。	ご認識のとおりです。 ご意見を踏まえ、要件が明確になるよう要件定義書を修正いたします。
34	要件定義書	15	2.1の（3）のウの表8の項番11	修文せよ	Azure AD Free の記載がございますが、現行でも利用しておりますでしょうか。別添8 RIETI保有ライセンス一覧 に Enterprise Mobility+Security E3があるため、Microsoft EntraID P1を利用していると想定しております。	認識に相違ないか確認するため。	ご認識のとおりです。 ご指摘を踏まえ、要件定義書を修正いたします。
35	要件定義書	15	2.1の（3）のウの表8の項番18	修文せよ	資産管理ツールではなく、電子決裁ツールの誤りではないでしょうか。	誤記修正のため	電子決裁システムの誤りです。 ご指摘を踏まえ、要件定義書を修正いたします。
36	要件定義書	21	3.2 の（4）のカ	要求水準を下げよ	以下のようにクラウドサービスの選定条件を緩和いただけないでしょうか。 ①ISMAP登録されているまたはISO/IEC27017 を取得しているクラウドサービスを選定すること ②要機密情報をクラウドサービス上に保管する場合は、 ISMAPに登録されていること	選定するクラウドサービスがISMAP認証を取得していないため、選定要件を緩和いただきたいため。	原案のとおりといたします。 要件定義書（案）3.2(4)アに記載のとおり、ISMAPクラウドサービスリスト、またはISMAP-LIUクラウドサービスリストに同等製品が登録されていない場合に限り、「情報セキュリティ対策確認表」をご提出いただき、同等のセキュリティ水準を確保しているか判断いたします。
37	要件定義書	21	3.2 の（4）のシ	要求水準を下げよ	クラウドサービスのログ取得については、サービス仕様上ログを取得・保持しているサービスであれば提供は可能です。しかし、中にはログ取得・保持していないサービスやセキュリティの観点上ログを提供できないサービスもございます。 （IasSのサーバ基盤のログなど） そのため、サービス上ログを取得・保管していないサービスは対象外とさせていただけないでしょうか。	クラウドサービスの選定要件を緩和いただきたいため。	ログ取得・保持は必須要件となるため、原案のとおりといたします。 ただし、開示範囲については当研究所と協議できるものといたします。
38	要件定義書	22	3.2 の（5）のエ	要求水準を下げよ	サービスによってはSLAを定めていないサービスもございますので、以下のように文言を追記いただけないでしょうか。 ■記載追記案 サービスで定めていないのであれば、各種サービスの 可用性については、運用設計で協議の上決定とする。	クラウドサービスの選定要件を緩和いただきたいため。	ご意見を踏まえ、要件定義書を修正いたします。
39	要件定義書	25	3.5.の(2)のア	その他	「コンポーネントの故障に起因するデータの滅失や改変を防止する。」について、機器の冗長化を実施していることを示すことで、当該要件における「データの滅失や改変への対策を講じている」ことの説明として、妥当と考えてよろしいでしょうか。	認識に相違ないか確認するため。	ご提案にお任せします。
40	要件定義書	25	3.5.の(2)のア	その他	「異常な入力や処理を検出しデータの滅失や改変を防止する。」について、サービスにおいてインジェクション攻撃への対策を実施していることを示すことで、要件を満たしているとみなされる認識で相違ございませんでしょうか。	認識に相違ないか確認するため。	ご提案にお任せします。
41	要件定義書	31	3.11.の（3）のイの表19の項番3	修文せよ	インターネット回線は50Mbpsとなっておりますが、システム構成図上では400Mbpsとなっております。記載誤りではないしょうか。	誤記修正のため。	誤記となります。 ご指摘を踏まえ、要件定義書を修正いたします。
42	要件定義書	32	3.11の(4)	その他	「データセンター内において、ICカード等による本人認証のほか、バイオメトリクス（生体認証）等による本人確認を併用して実施していること。」について、本人認証として、事前入館申請および申請の正当性確認を行ったうえで、入館時は顔写真付身分証明書による本人確認後にICカードを貸与するような運用は要件を満たしているとみなされる認識で相違ございませんでしょうか。	認識に相違ないか確認するため。	ご認識のとおりです。
43	要件定義書	39	3.13.の(3)の表25	その他	表25に記載されているシステムにおいて、受託者側が行う作業は、以下のように整理しておりますが、問題ございませんでしょうか。 ReIMS、CMS、会計DB、会計WEB、謝金システム：サーバ構築（OS部分のみ） ※但し、アプリケーション/ミドルウェアの移行に伴い、 OS側の設定が必要な場合、調達部門と協議し、 OS側のチューニングを行う。	認識に相違ないか確認するため。	ご認識のとおりです。
44	要件定義書	42	3.13の(12)の表27の項番1	その他	Microsoft365 について、現行のアカウント情報を移行し、第六期でも同じアカウント利用する想定でおります。 規定ドメインの変更をご希望の場合、既存ユーザの認証システム関連に影響が発生する可能性がございますが、検証の実施ができず、一度変更すると切り戻すこともできず、業務全体に多大な影響を及ぼす可能性がございます。また、ユーザ単位での段階的移行などのスモールスタートの移行もできないため、実施するとしても一斉切り替えとなります。このように影響範囲の明確化ができない状態での切り替えは非常に高いリスクを内包した作業になると考えます。 つきましては、規定ドメイン変更については、今回の作業対象外とさせていただけないでしょうか。	作業範囲を明確化するため。	ご意見を踏まえ、要件が明確になるよう要件定義書を修正いたします。

45	要件定義書	42	3.13 の（12）の表27	その他	以下のような文言を追記いただけないでしょうか。 ■記載案 暗号化されてるファイルを復号化して、データ移行 すること。 ただし、暗号化されているファイルの復号化は現行 運用業者が行うものとし、受託業者は現行運用業者 と調整して、ファイルの復号化を行うこと。データ移行に 関しては現行運用業者にかかる負荷を考慮のうえ、 効率的な移行方法を提案すること。	暗号化されているファイルを復号化するため、現行運用業者との調整が必要であることを明確にするため。	ご意見を踏まえ、要件が明確になるよう要件定義書を修正いたします。
46	要件定義書	49	3.16.の（5）の表31の項番1	その他	以下のような文言を追記いただけないでしょうか。 ■記載案 クライアントPCのWindowsOSパッチ適用率は月次 報告書で集計し、90%以上を達成していること。	脆弱性に係るためクライアントPCのWindowsOSのアップデート適用率は常に高い水準が必要であると考えているため。	ご意見を踏まえ、要件定義書を修正いたします。
47	要件定義書	49	3.16 の（5）の表31の項番2	その他	以下のような文言を追記いただけないでしょうか。 ■記載案 サーバの監査ログは必要期間保持し、それ以外の 期間は削除するようローテートする仕組みを導入 すること。	サーバ運用の効率化を図るため。	検討しましたが、原案のとおりといたします。 なお、貴社において記載の要件が効率的であると判断される場合には、ご提案いただいて差し支えありません。
48	要件定義書	49	3.16 の（5）の表31の項番2	その他	CDNのアクセスログを、日次で取得する必要はございますか。 必要がある場合は、保管先のご指定はございますか。	作業範囲を明確化するため。	ご意見を踏まえ、要件が明確になるよう要件定義書を修正いたします。
49	要件定義書	51	3.16.の（5）の表31の項番11	その他	要件定義書 2.1 （3）表7 www公開サーバの要件・スペックにおいて、DDoS攻撃に対応可能と記載されておりますが、運用作業においてDDoS攻撃に関する対応等の配慮が必要と考えますが、具体的な対応及びDDoS攻撃に関する頻度等について、ご教授願いませんでしょうか。	DDoS攻撃に対する配慮を運用工数に反映する必要があると考えております。	ご意見を踏まえ、要件が明確になるよう要件定義書を修正いたします。
50	要件定義書	54	3.16.の(8)のウ	その他	月の半分とは、営業日の半分という認識でよろしいでしょうか。 例）営業日20日の場合、10日以上常駐勤務	認識に相違ないか確認するため。	ご意見を踏まえ、要件が明確になるよう要件定義書を修正いたします。
51	要件定義書	56	3.17 の（5）のウ	その他	以下のような文言を追記いただけないでしょうか。 ■記載案 ・WindowsServerにおいては月次でパッチ適用を 実施すること。 ・なお、パッチ適用する際は業務影響度の低いサーバ （冗長化している2号機など）で先行適用を行い、 その後、全体適用を行うこと。	昨今では緊急性のある脆弱性がWindowsSeverの修正プログラム公開されるため、毎月Windowsサーバでパッチ適用を行う必要があると考えているため。	ご意見を踏まえ、要件定義書を修正いたします。
52	要件定義書	-	別添1 第五期RIETI PC-LANサービス機能要件一覧 項番2	修文せよ	スキャンしたデータは、スキャンしたユーザ宛にURLをメール送付する運用とし、共有フォルダへの保存は行わない事と想定しておりますが、こちらの条件で要件を満たしているとみなされる認識で相違ございませんでしょうか。 相違ない場合は、以下のように文言を修正いただけませんでしょうか。 ■記載案 印刷物の出力は、複合機へのパスワードの入力等 により認証を実施し、印刷キューの出力やスキャナー でのデータ保存は、実施した利用者本人のみが、 該当キューやドキュメントのみを取り扱えること。	要件を明確にするため。	ご認識のとおりです。 ご意見を踏まえ、要件定義書を修正いたします。
53	要件定義書	-	別添3 情報セキュリティ要件一覧 項番159	要求水準を下げよ	監査証跡ログの取得対象として、複合機の記載を削除いただけないでしょうか。 または、SKYSEAによるクライアントPCの操作ログから、印刷出力状況(枚数、ファイル名、ドキュメント名)の確認ができるため、こちらのログを複合機の監査証跡ログと同等なログとみなしていただけないでしょうか。	複合機での監査ログの取得、保管が機器仕様上不可のため。	ご意見を踏まえ、要件定義書を修正いたします。
54	要件定義書	-	別添3 情報セキュリティ要件一覧 項番160		ログ取得対象として複合機は含まれますでしょうか。 含まれる場合は、SKYSEAによるクライアントPCの操作ログから印刷出力状況(枚数、ファイル名、ドキュメント名)の確認ができるため、こちらのログを複合機の監査証跡ログと同等なログとみなしていただけないでしょうか。	複合機での監査ログの取得、保管が機器仕様上不可のため。	ご意見を踏まえ、要件定義書を修正いたします。
55	要件定義書	-	別添6 第五期RIETI PC-LANサービス ハードウエア要件 項番44	その他	ファクシミリが必要な台数について、ご教授いただけませんでしょうか。 また、中綴じ等の機能が必要な複合機もあるかと想定しておりますが、それぞれの機能が必要な複合機の台数についても、ご教授願います。	要件を明確にするため。	ご意見を踏まえ、要件が明確になるよう要件定義書を修正いたします。
56	要件定義書	-	別添6 第五期RIETI PC-LANサービス ハードウェア要件	その他	別添6に記載されている内容が第五期PC-LANシステムの仕様であり、今回の要件定義書本文が、今回変更になった差分という解釈で合っておりますでしょうか。 ＜類似箇所＞ ・要件定義書 P8 (3)機能要件 下記(表6)に記載する以外の要件は「別添１ 第五期 RIETI PC-LAN サービス機能要件一覧」に記載する現行の要件とする。 ・要件定義書 P9,P10 イ ハードウエア要件、にて本文及び表７に記載のない仕様については「別添６ 第五期 RIETI PC-LAN サービスハードウエア要件」を現行踏襲として参照することとなっている。 ・要件定義書 P13,P14 ソフトウエア要件 も本文及び表８に記載のない仕様については 「別添7 第五期 RIETI PC-LAN サービスソフトウエア要件」を参照することとなっている。 ・要件定義書 P19 全体構成は以降の本文中に今回の変更点を記載、記載のない仕様については 「別添2 第五期 RIETI PC-LAN サービスの主な構成」を参照することとなっている。 ・同様に要件定義書 P30 PC-LANの構成については、本文中に第六期の要件が記載されている。現行のPC-LAN構成については 「別添5 第五期 RIETI PC-LAN サービスソフトウエア要件」を参照することとなっている。	認識に相違ないか確認するため。	ご認識のとおりです。 主な変更点については要件定義書（案）2.1(2)に記載をしてございます。

57	要件定義書	-	別添6 第五期RIETI PC-LAN サービス ハードウェア 要件 項番43	修文せよ	１行目、最終行の文字が切れております。記載が確認できていない文字列がございますでしょうか。	内容について文字列に抜けがあった場合、要件について十分な確認ができないため。	下記内容を記載しておりました。 ご確認をお願いします。 本調達にあたり当研究所から下記の用紙提供は行わない。 ･ｶﾛｰｶｰ名： オービックビジネスコンサルタント 用紙型番 ： 4104-A 用紙名 ： 単票賃金台帳（源泉徴収簿） サイズ ： A4縦 ･ｶﾛｰｶｰ名： オービックビジネスコンサルタント 用紙型番 ： KWP-21 用紙名 ： 給与明細パック サイズ ： 明細書サイズ／B4縦 ･ｶﾛｰｶｰ名： オービックビジネスコンサルタント 用紙型番 ： 4109-A8 用紙名 ： 単票源泉徴収票 サイズ ： A4横 ･ｶﾛｰｶｰ名： オービックビジネスコンサルタント 用紙型番 ： 4124 用紙名 ： 単票バインダー原帳 サイズ ： A4縦 ･ｶﾛｰｶｰ名： KOKUYO 用紙型番 ： KB-39TN 用紙名 ： KB用紙 サイズ ： A4
58	要件定義書		別添6 第五期RIETI PC-LAN サービス ハードウェア 要件 項番52	要求水準を上げよ	「ウォームアップによるする時間は115秒以下であること。」とありますが、「ウォームアップ時間は25秒以下であること。」への変更をお願いできますでしょうか。	最新複合機の一般的な仕様となるため。	ご意見を踏まえ、要件定義書を修正いたします。
59	要件定義書		別添6 第五期RIETI PC-LAN サービス ハードウェア 要件 項番55	要求水準を上げよ	連続複写速度は、A4横にて片面・両面ともモノクロは毎分50ページ、カラーは毎分45ページとありますが、モノクロ、カラーとも毎分55ページへの変更をお願いできますでしょうか。	最新複合機の一般的な仕様となるため。	ご意見を踏まえ、要件定義書を修正いたします。
60	要件定義書		別添6 第五期RIETI PC-LAN サービス ハードウェア 要件 項番60	修文せよ	カラー別コピー枚数・カラー別プリント枚数とありますが、面数表記の追加もしくは修文をお願いいたします。 カラー別コピー枚数（面数）・カラー別プリント枚数（面数）に修文お願いいたします。	集計するカウンター数値は面数となるため。	ご意見を踏まえ、要件定義書を修正いたします。
61	要件定義書	-	別添6 第五期RIETI PC-LAN サービス ハードウェア 要件 項番62	その他	以下のような文言を追記いただけないでしょうか。 ■記載案 コピーやスキャナーによる原稿読み取り、クライアント PCからの出力等による内部ハードディスクの残存 データの上書き消去ができること。 ただし、内部ストレージが暗号化機能を有したSSD であれば、上書き消去機能がなくても可とする。」	最新のプリンター、複合機の仕様ではHDDではなく、SSDを利用することとなっているため。	ご意見を踏まえ、要件定義書を修正いたします。
62	要件定義書	-	別添6 第五期RIETI PC-LAN サービス ハードウェア 要件 項番63	その他	印刷時以外にも、コピー、スキャン時にも同様に暗号番号等（ICカード認証など）での認証を行う事で、認識相違ございませんでしょうか。	認識に相違ないか確認するため。	ご認識のとおりです。 ご意見を踏まえ、要件定義書を修正いたします。
63	要件定義書		別添6 第五期RIETI PC-LAN サービス ハードウェア 要件 項番64	要求水準を上げよ	毎分60枚以上を毎分80ページ以上への変更をお願いできますでしょうか。 また、合わせて毎分80ページ以上（片面、A4横）の表記で「片面」を追加して修文お願いいたします。	ｽｷｬﾅｰ読み取り速度は、一般的に「枚」ではなく「ページ」表記となります。 最新複合機の一般的な仕様となるため。	ご意見を踏まえ、要件定義書を修正いたします。
64	要件定義書		別添6 第五期RIETI PC-LAN サービス ハードウェア 要件 項番85	要求水準を上げよ	毎分25ページ以上とありますが、毎分45ページ以上への変更をお願いできますでしょうか。	複合機の台数削減から、カラープリンタでの印刷業務も増加すると想定されますので、印刷業務の生産性向上を図ることができます。 最新複合機の一般的な仕様となるため。	ご意見を踏まえ、要件定義書を修正いたします。
65	要件定義書	-	別添6 第五期RIETI PC-LAN サービス ハードウェア 要件 項番86	修文せよ	別添6 第五期RIETI PC-LANサービスハードウェア要件 項番63 と同じ内容が記載されておりますので、修文お願いいたします。	誤記修正のため。	原案のとおりといたします。 No.63はカラー複合機に関する要件であり、No.86はカラープリンターに関する要件となっております。
66	要件定義書	-	別添6 第五期RIETI PC-LAN サービス ハードウェア 要件 項番88	その他	以下のような文言を追記いただけないでしょうか。 ■記載案 コピーやスキャナーによる原稿読み取り、クライアントPCからの出力等による内部ハードディスクの残存データの上書き消去ができること。ただし、内部ストレージが暗号化機能を有したSSDであれば、上書き消去機能がなくても可とする。」	最新のプリンター、複合機の仕様ではHDDではなく、SSDを利用することとなっているため。	ご意見を踏まえ、要件定義書を修正いたします。
67	要件定義書	3	別添9 管理指標一覧（案）及びその改訂等に係る取り扱い 4.の表3	要求水準を下げよ	在宅勤務時に故障した場合、問い合わせを受け付けたとしても1時間以内に交換対応ができないため、ユーザの持ち込み後、1時間以内という計測時間とさせていただけないでしょうか。	在宅勤務時に故障した場合、問い合わせを受け付けても1時間以内に交換対応ができないため。	ご意見を踏まえ、要件定義書を修正いたします。
68	要件定義書	5	別添9 管理指標一覧（案）及びその改訂等に係る取り扱い 4.の表8	要求水準を下げよ	複合機のメーカー保守について、コールセンターへお電話での受付から計測し、原則４時間以内での対応につきまして、部品交換を伴わない修理であれば問題ございません。部品交換が必要な場合、最寄りのパーツセンターにて部品在庫がある場合に限り、4時間以内での対応が可能です。しかし、部品在庫がない場合につきましては、翌日もしくは翌々日の対応となる可能性がございますので、部品在庫がない場合は翌々営業日までの対応とさせていただけないでしょうか。	部品の在庫がない場合はSLAを満たすことができないため。	ご意見を踏まえ、要件定義書を修正いたします。

69	調達仕様書（案）	22	4.16(2)	要求水準を下げよ	契約締結後1週間以内に業務実施計画書の納品は期日が短いため、資料作成後のレビュー・修正を考慮した期日に変更頂けますでしょうか？(契約締結後2週間以内など)	期間が短くレビュー・修正を考慮すると品質に影響するため。	ご意見を踏まえ、調達仕様書を修正いたします。
70	要件定義書	12	2.1（3）イ	要求水準を下げよ	データセンター内作業用コンソールに関して、 「データセンター内作業用コンソール 第六期RIETI PC-LANサービスの構成にデータセンターが含まれる場合、調達に含むこと。 以下に現行RIETI PC-LANで利用している製品内容を記載する。内容を参考し、第六期RIETI PC-LANサービスで提供する際は新要件及び現行性能以上のものを調達すること。」 データセンター内で使用可能なコンソールについて、貸出形式での対応も許容いただけますでしょうか？	データセンター内で貸出形式が許容されるいただくことで、費用を削減できると考えているため。	データセンターに設置するサーバ類には、機密性の高い情報が含まれる可能性があるため、情報漏洩リスクへの十分な配慮が必要です。 貸出形式のコンソールであっても、情報漏洩のリスクが一切ないことを貴社にて保証いただける場合には、方式についてはご提案にお任せいたします。
71	要件定義書	13	2.1（3）イ	その他	「現行にあるログ分析ツールの継続利用有無等を含めて最適な提案をすること。」記載内容の「ログ分析ツール」とは具体的にどのツールを指しているのか、ご教示いただけますでしょうか？	現行ツールと同等の製品を適切に選定することで、コストを抑えた製品の導入が可能となると考えているため。	ご意見を踏まえ、要件が明確になるよう修正いたします。
72	要件定義書	13	2.1（3）イ	その他	ReIMSサーバ、会計Webサーバ、会計DBサーバ、謝金システムサーバ、CMSサーバにつきまして、各サーバの想定スペックについては、公示段階での開示をいただけますでしょうか？	事前に情報を提示いただくことで、より適切な提案が可能となりますので、想定スペックがあれば教えていただきたい。	要件定義書(案)「閲覧文書」項目のとおり、公告期間中に限り現行RIETI PC-LANサービスにおける各サーバのスペックをご確認いただくことが可能です。現行スペックをご参照のうえ、最適と考えられる構成をご提案くださいますようお願いいたします。
73	要件定義書	13	2.1（3）イ	その他	「SKY SEA Client View等の他サービスとの連携を考慮すること」と記載されている理由についてご教示いただけますでしょうか？ あわせて、SKY SEAで連携を実施すべき必要性や背景についても、ご説明いただけますでしょうか？	現環境踏襲という認識をしておりますが、それ以外の理由があれば教えていただきたい。	現在WSUSを使用していますが、新機能開発の停止が発表されており、将来的な廃止が見込まれます。そのため、代替手段としてSKYSEA等との連携を含めたパッチ配布方法の検討が必要です。SKYSEAは一括配布や管理機能が充実しており、要件を満たす有力な選択肢と考えています。
74	要件定義書	17	3.1(3)	その他	「他の言語で閲覧」とありますが、英語となりますでしょうか？言語の想定がありましたら製品選定にも起因するので開示頂けないでしょうか？	英語と想定しておりますが、念のため確認させていただきたい。	ご意見を踏まえ、対象となる言語が明確になるよう、要件定義書を修正いたします。
75	要件定義書	22	3.2(5)	要求水準を下げよ	イ.クラウドサービスの提供元の設備要件は、以下のとおりであること。 •クラウドサービスを提供するデータセンターはセキュリティ確保のために場所等の情報は非公開となっていること。 •クラウドサービスを提供するデータセンターは地理的に分散し、データセンター自身の冗長化が図られていること。ただし、データセンターが単一の場合でもサービスの冗長化が図られており、稼働率が99.99%を保証し、万が一の障害発生時にもそのサービス機能のみを切り離せるような仕組みが施されている場合は、情報システム担当との協議のうえで採用することを可とする。 エ.クラウドサービスに係る可用性の要件は、以下のとおりであること。 •サービスの可用性として、99.99%以上の稼働率を確保していること。 【変更依頼】 上記の99.99%以上を、別添9 管理指標一覧（案）及びその改訂等に係る取り扱い」の「クラウド基盤 」に記載の「目標値：業務時間の99.9%以上 」と同じく 99.9%としていただけないでしょうか？	「別添9 管理指標一覧（案）の4.(1)サービス運用および保守に関わる管理項目」上で表記されているサービスレベルの目標値は99.9%と記載されております。 本要件においの99.99%と差異がございますので、管理指標一覧と同様に99.95に変更記載を頂けますでしょうか。	99.99%の保証が難しいサービスも多く存在するため、その旨を要件定義書に反映いたします。
76	要件定義書	35	3.12	修文せよ	表21 テスト要件の項番3において、以下誤字があるため修正いただけますでしょうか？ 「環境をとすること」	誤字脱字は内容に誤解を生じさせる可能性があるため。	ご指摘を踏まえ、要件定義書を修正いたします。
77	要件定義書	34	3.11 （4）イ	要求水準を	「機器設置区域への出入り口は、とも連れを防止する対策を実施していること。」と記載いただいておりますが、「とも連れ防止策または同等の効果がある対策を講じていること」という文言への緩和いただけないでしょうか？	下記の対策を考えております。 ・入局時にはサーバー室前室にて係員が本人確認を行っており、この時点で共連れ（とも連れ）ができない仕組みとなっております。 ・一時退室時につきましても、係員が監視カメラで状況を確認しながら扉の遠隔開放を行っているため、目視による確認を実施しています。 これらの運用により、とも連れ防止策として要件を満たすものとして考えているため。	原案のとおりといたします。 理由欄に記載された対策につきましては、当研究所の要件を満たしているものと判断しております。
78	要件定義書	40	3.13	修文せよ	(6)移行設計のウにおいて、以下誤字があるため修正いただけますでしょうか？ 「サービスス」	誤字脱字は内容に誤解を生じさせる可能性があるため。	ご指摘を踏まえ、要件定義書を修正いたします。
79	要件定義書	43	3.13(12)	その他	URLフィルタリングについて 現時点で設定されているフィルタリング情報の具体的な内容についてご教示いただけますでしょうか。	対象範囲が明確でない場合、不要なコストが発生する可能性があるため、範囲を明確化したいと考えております。	要件定義書(案)「閲覧文書」項目のとおり、公告期間中に限り現行RIETI PC-LANサービスにおける資料をご確認いただくことが可能です。つきましては、該当の内容について、公告期間内にご確認いただきますようお願いいたします。
80	要件定義書	45	3.15	その他	教育の対象とする対象システムをご教示頂けますでしょうか？ また、情報システム担当と協議のうえで決定する前提のもと、第5期の教育対象としたシステムについてもご教示頂けないでしょうか？	対象範囲が明確でない場合、不要なコストが発生する可能性があるため、範囲を明確化したいと考えております。	対象となるシステムが明確になるよう、要件定義書を修正いたします。
81	要件定義書	47	3.16(1) 項番7	その他	「運用保守業務支援ツール」について、受託者側にて提供するSaaS型のサービスを利用をさせていただくことは可能でしょうか？	運用保守業務支援ツールの製品選定に際して、対応可否を確認したいため。	要件を満たすようであれば、ご提案にお任せします。
82	要件定義書	51	3.16(5) 項番11	要求水準を	「[第六期RIETI PC-LANサービスの連携先システムにおいて障害が発生し、業務影響が発生した場合においても、連携先システム担当が実施する原因調査、代替策、解決策の検討及び処置を必要に応じて支援すること。]と記載があるが、運用対象外のシステムについての原因調査、代替策、解決策の検討及び処置については範囲外として頂けないでしょうか？	運用対象外のシステムについては、構成・設定内容・設計方針等の把握が困難であり、本業務受託事業者の管理範囲外であることから、原因調査や対応支援を行うことは責任を負えない領域となります。 また誤った判断や二次障害の発生リスクを高める可能性もあるため、運用業務として含めることは適切ではないと考えております。 よって、連携先システムに関しては、必要に応じて情報連携や調整支援にとどめる形が望ましいと考えております。	ご意見を踏まえ、要件定義書を修正いたします。
83	要件定義書	51	3.16(5) 項番11	要求水準を	「常駐作業員は、システム障害時に一次切り分けを行うこと」という記載があるが、リモートでの一次切り分け作業も許可して頂けないでしょうか？	24時間365日の監視・及びアラート検知後の一次切り分け対応を行う想定のため、リモートでの一次切り分けの対応を許可をご検討いただければと存じます。	検討しましたが、原案のとおりとします。
84	要件定義書	54	3.16(7) イ	要求水準を	「イ 第六期RIETI PC-LANサービスの監視項目は、SLA遵守のために必要な項目を受託者が想定すること。少なくともデータセンターに設置する各機器の稼働状態監視、死活監視、トラフィック監視等を想定すること。その他、当研究所のシステム運用・監視に資すると考えられる監視項目については受託者の責において検討すること。」 と記載がございますが、「想定される監視項目を整理のうえ、SLA遵守・安定運用に向けた提案をする」という表記に変更していただけないでしょうか？	SLAの遵守を目的とする場合には、稼働状況を把握するだけでなく、システム全体の健全性や、システム停止時の影響度を踏まえた監視設計が重要であると認識しております。 そのため、受託者側のナレッジを踏まえた監視項目をご提案させていただいた上で、システムの利用状況等も加味し、運用実態に即した内容を採用いただけるよう、貴研究所様と協議のうえで監視項目を決定させていただきたく存じます。	検討しましたが、原案のとおりとします。
85	その他		別添1 第五期RIETI PC-LANサービス機能要件一覧 No.67	その他	「ポータル」とはSPO（SharePoint Online）のことを指しているという理解で相違ないでしょうか。また、SPOに対する具体的な要件がすでに策定されているか、ご教示頂けますでしょうか？	情報を提示いただくことで、より適切な提案が可能となりますので、お教えいただきたい。	構築しているサービスが明確になるよう、要件を修正いたします。 詳細につきましては、要件定義書（案）「閲覧文書」に記載のとおり、公告期間中に限り、現行サービスにおける設定資料をご確認いただけますので、その際にご参照いただけますようお願いいたします。
86	その他		別添2 第五期RIETI PC-LANサービス機能要件一覧 No.68	その他	スペアメールの取扱いにつきまして、現時点でどのような運用方針や対応方法を想定されているか、ご教示いただけますでしょうか。	情報を提示いただくことで、より適切な提案が可能となりますので、お教えいただきたい。	運用方針や対応方法が明確になるよう、要件を修正いたします。

87	その他		別添6 第五期RIETI PC-LAN サービス ハードウェア 要件 No.37	修文せよ	「利用状況確認、集計機能及び各種設定が特定のリモート環境から行えること。」とありますが、「利用状況確認、集計機能」の文言削除をお願いいたします。	利用状況の確認、集計結果の確認は項番：34の利用状況レポートにて提供ができるため。	No.34は、受託者がレポートの提供を行うことを求めるものです。No.37についてはご意見をもとに要件が明確になるよう修正いたします。
88	その他		別添6 第五期RIETI PC-LAN サービス ハードウェア 要件 No.60	修文せよ	「20グループ以上のカラー別コピー枚数・カラー別プリント枚数の集計が行えること。なお、集計方法についてはRIETI本部常駐作業員による作業、もしくは複合機器を提供するベンダーのサービスセンタを利用する方式（インターネット経由によるデータ集計）等で実現すること。」とありますが、以下内容にて修文のご検討をお願いいたします。 複合機ごとに、カラー別コピー面数（枚数）・カラー別プリント面数（枚数）の集計結果が取得できること。なお、集計結果の取得については、複合機器を提供するベンダーのサービスセンタを利用する方式（インターネット経由によるデータ集計）等で実現すること。」への修文をお願いいたします。	複合機ごとのカラー別コピー枚数・カラー別プリント枚数の集計結果の取得を簡単に、またコストをかけずに実現できるご提案となります。	ご意見を踏まえ、修正いたします。
89	その他		別添6 第五期RIETI PC-LAN サービス ハードウェア 要件 N0.62	その他	「コピーやスキャナーによる現行読み取り、クライアントPC からの出力等による内部ハードディスクの残存データの上書き消去ができること。」とありますが、「コピーやスキャナーによる現行読み取り、クライアントPCからの出力等による内部ハードディスクの残存データの上書き消去ができること。ただし、内部ストレージが暗号化機能を有したSSDであれば、上書き消去機能がなくても可とする。」に修文お願いいたします。	最新カラー複合機の内部ストレージの主流はSSDとなっているため。	ご意見を踏まえ、修正いたします。
90	その他		別添6 第五期RIETI PC-LAN サービス ハードウェア 要件 N0.88	その他	「クライアントPC からの出力等による内部ハードディスクの残存データの上書き消去ができること。」とありますが、「クライアントPCからの出力等による内部ハードディスクの残存データの上書き消去ができること。ただし、内部ストレージが暗号化機能を有したSSDであれば、上書き消去機能がなくても可とする。」に修文お願いいたします。	最新カラープリンターの内部ストレージの主流はSSDとなっているため。	ご意見を踏まえ、修正いたします。
91	その他		情報セキュリティ対策要件一覧 No.9	その他	第六期RIETI PC-LANサービスへアクセスする端末についてご要件としてはIntune＋MDE＋EntraIDを用いて、デバイスベースの条件付きアクセスをご検討されていると理解しましたが、認識齟齬ありますでしょうか。	情報を提示いただくことで、より適切な提案が可能となりますので、お教えいただきたい。	ご意見を踏まえ、要件が明確になるよう修正いたします。
92	その他		情報セキュリティ対策要件一覧 No.14	その他	特定の管理表クライアントPCから各管理ポータルへのアクセスするなどの運用方法が必要なため、現在検討している運用方法の詳細を確認させていただけないでしょうか。	情報を提示いただくことで、より適切な提案が可能となりますので、お教えいただきたい。	記載のとおりクラウドサービスに関してはサービスの特性上この限りではありません。管理用クライアントPCからの運用が明確になるよう、要件を修正いたします。
93	その他		情報セキュリティ対策要件一覧 No.27	その他	操作ログに関してはどのようなログを取得想定なのかご教示いただけますでしょうか。 サインインログや各アクティビティログをご確認予定と推測しておりますが認識齟齬がございましたらご教示いただけないでしょうか。	情報を提示いただくことで、より適切な提案が可能となりますので、お教えいただきたい。	ご意見を踏まえ、要件が明確になるよう修正いたします。
94	その他		情報セキュリティ対策要件一覧 No.31	要求水準を	MDOの機能により送信中のファイルやメールに添付されいているファイルに対するマルウェア対策が可能です。またメールに添付されいているURLに対するマルウェア対策も可能です。ただし、受信済みのURLに対するマルウェア対策は不可のため、導入後のメール以降の対応で問題ないかご確認いただけないでしょうか。	MDOの機能では実現できる範囲は限られることから、要求緩和案のご検討をお願いします。	原案のとおりとします。 対象については、第六期RIETI PC-LANサービス導入後といたします。
95	その他		情報セキュリティ対策要件一覧 No.41	その他	パターンファイルの適用はPCからMS側に取得する方法もしくはWSUS側から配布する方法があるため、現状検討している手動適用の運用は不要になる認識です。そのため、主導による適用とはどのような方法をイメージしているのかご教示いただけないでしょうか。手動適用が本文の全社であればその旨もご回答いただけないでしょうか。	情報を提示いただくことで、より適切な提案が可能となりますので、お教えいただきたい。	ご意見を踏まえ、要件が明確になるよう修正いたします。
96	その他		情報セキュリティ対策要件一覧 No.48	その他	下記文言の送信者とは、ネットワーク隔離された対象のユーザーを指すのでしょうか。 ■文章 内部からのメールでウイルスを検知した場合は、該当PCを速やかにネットワークから隔離し、送信者及び情報システム担当へ通知すること。	情報を提示いただくことで、より適切な提案が可能となりますので、お教えいただきたい。	該当の文章は、内部から送信されたメールにおいてウイルスが検知された場合を対象としており、“送信者”はそのメールを送信した当研究所内のユーザーを指しています。
97	その他		情報セキュリティ対策要件一覧 No.49	その他	レポート状況を確認すると文言があるがMDE導入後はウイルス対策のスキャン状況が確認可能のため、どのような項目があるレポートを取得想定かご教示いただけないでしょうか。	情報を提示いただくことで、より適切な提案が可能となりますので、お教えいただきたい。	ご意見を踏まえ、要件が明確になるよう修正いたします。
98	その他		情報セキュリティ対策要件一覧 No.65	その他	下記文章について、ExOを利用しているユーザー自身側で仕分けルールを活用することが望ましいです。 ■文章 No.64の電子メール到達時の判定によりスパムメールと判定された電子メールについては、受信者がそれと分かり、メールクライアント側での振り分けができるよう、件名に特定の文字列を付記する等のマーキング処理を行うこと。	MDOの機能では実現できる範囲は限られることから、要求緩和案のご検討をお願いします。	原案のとおりとします。 仕分けルールの活用等については、ご提案にお任せいたします。
99	その他		情報セキュリティ対策要件一覧 No.77	その他	ファイル自動暗号化について、どのようなイメージを想定しているかご教示いただけないでしょうか。現行のライセンスであれば、ドキュメント作成時に既定のラベルを付与するもしくは、SPOサイトに格納された場合にSPOサイト側に設定された既定のラベルを適用することが可能になります。	情報を提示いただくことで、より適切な提案が可能となりますので、お教えいただきたい。	ご意見を踏まえ、要件が明確になるよう修正いたします。
100	その他		情報セキュリティ対策要件一覧 No.88	その他	共有フォルダーは既存のファイルサーバーのことを指している認識に相違はないでしょうか。MPIPの秘密度ラベルと組み合わせる場合、MIPスキャナーが別建てする必要があるため認識合わせをさせていただければと思います。	情報を提示いただくことで、より適切な提案が可能となりますので、お教えいただきたい。	ご意見を踏まえ、要件が明確になるよう修正いたします。
101	その他		情報セキュリティ対策要件一覧 No.89	その他	ファイルに対する秘密度ラベルの適用は下記URLに記載している拡張子に対して暗号化が可能になります。そのため現状の業務にて利用する拡張子を列挙していただく形式でご教示いただけないでしょうか。 またOfficeファイルやPDFファイルは秘密度ラベル適用後でも拡張子は変更しませんが、txtやxmlは秘密度ラベル適用後ptxt,pxmlに変換されるが、暗号化はされる仕様になります。 ■参考URL：https://learn.microsoft.com/ja-jp/purview/information-protection-client?tabs=devices%2Cinstall-client-exe%2Cprotection-file-types%2Cexcluded-folders#supported-file-types	情報を提示いただくことで、より適切な提案が可能となりますので、お教えいただきたい。	要件定義書(案)「閲覧文書」項目のとおり、公告期間中に限り現行RIETI PC-LANサービスにおける資料をご確認いただくことが可能です。つきましては、該当の内容について、公告期間内にご確認いただきますようお願いいたします。
102	その他		情報セキュリティ対策要件一覧 No.98	その他	複数フォルダまたは複数ファイルが指定できることとは具体的にどのようなイメージでしょうか。複数ファイルを選択し、選択されたファイルに対して秘密度ラベルからの暗号化などを想定していますでしょうか。	情報を提示いただくことで、より適切な提案が可能となりますので、お教えいただきたい。	不要な項目のため、記載を削除いたします。
103	その他		情報セキュリティ対策要件一覧 No.99	その他	メールを一時的に保留することは運用方法にてカバーすることが一般的になります。特定の製品からの抑制方法を検討されていますでしょうか。	情報を提示いただくことで、より適切な提案が可能となりますので、お教えいただきたい。	ご意見を踏まえ、修正いたします。 現行の記載は特定の製品を想定した内容となっておりますが、要件を満たしている限り、特定の製品に限定するものではありません。
104	その他		情報セキュリティ対策要件一覧 No.100	要求水準を	DLPより特定の条件に一致する場合、ブロックすることが可能ですが取り消すことは不可になります。ただし、メールの送信がブロックされることで情報漏洩を防ぐことが可能のため、可能であれば、DLPからの抑制方法をご検討いただけないでしょうか。	該当機能では実現不可のため代替案をご検討ください。	ご意見を踏まえ、修正いたします。

105	その他		情報セキュリティ対策要件一覧 No.101	要求水準を	メールに添付されいているファイルに対して秘密度ラベルにより暗号化されていることから、MPIPでの実現方法で問題ないかご確認お願いします。	ファイルに対する暗号化にて実現可能のため、意見列に記載している案のご検討をお願いします。	すべての要件が満たされるのであれば、特に問題はございません。
106	その他		情報セキュリティ対策要件一覧 No.105	要求水準を	送信したメールは受信者に到達していることを想定しているため、機能実現は難しいと判断しております。	DLPの機能では実現不可のため代替案をご検討ください。	ご意見を踏まえ、修正いたします。
107	その他		別添9 管理指標一覧（案）及びその改訂等に係る取り扱い 4.(1)	その他	「別添9 管理指標一覧（案）及びその改訂等に係る取り扱い」についての意見となります。 SaaS形式で提供されるシステムにつきましては、当該サービスの提供元メーカーが定義しているサービスレベルに準拠した内容を基準として頂けないでしょうか？	SaaSシステムは、提供メーカーがサービス基盤の運用・保守を一括して管理しており、サービスレベル（SLA）もメーカー側で定められています。 そのため、利用者側で独自にサービスレベルを変更・設定することは困難であり、提供メーカーが定義するサービスレベルに準拠する必要があると考えられます。	検討しましたが、原案のとおりとします。
108	その他		別添9 管理指標一覧（案）及びその改訂等に係る取り扱い 4．(6)	その他	運用管理サービスへの満足度調査については、受託者側が用意したフォーマットにて対応させていただけないでしょうか？	弊社サービスにて一括でアンケートを取る方針のため、質問内容や目標値については弊社にて決めたフォーマットを使用させていただくことを検討しているため。	要件が満たされるのであれば、ご提案にお任せいたします。
109	その他		別添9 管理指標一覧（案）及びその改訂等に係る取り扱い 4.(2)	要求水準を	「別添9 管理指標一覧（案）及びその改訂等に係る取り扱い」についての意見となります。 「新データセンター内作業が必要となってから１時間以内」 「新データセンター内作業が可能な体制を整えてから１時間以内」に修文いただけないでしょうか？	ハードウェア障害等が発生した際に、機器の手配を含めて1時間以内に対応することは、現実的に難しいと考えているため。	ご指摘を踏まえ、修正いたします。
110	調達仕様書（案）	別添3 情報セキュリティ要件一覧	116	その他	以下の仕様書案を、調達仕様書に含めてください。 FW全般に関する記述です。 ・ポリシー設定画面において、ポリシーが作成された日付と最後に更新された日付を確認できること。	以下メリットを享受いただけるからです。 ・運用の透明性向上と属人化の排除 →ポリシーの変更履歴が明確になり、担当者の異動や交代があっても設定の意図を正確に引き継げます。 ・セキュリティ設定の形骸化防止 →長期間利用・更新されていないポリシーを容易に特定でき、不要なルールの棚卸しを効率化することで、設定ミスによるセキュリティホールを防ぎます。 ・監査対応の迅速化 →監査の際に、ポリシー設定の正当性や変更履歴を迅速に提示できます。	検討しましたが、原案のとおりとします。
111	調達仕様書（案）	別添3 情報セキュリティ要件一覧	116	その他	以下の仕様書案を、調達仕様書に含めてください。 FW全般に関する記述です。 ・セッション数が閾値を超えた場合に、自動的にセッションタイマーを短くすることでセッション数の増加を抑制する機能を有すること。	以下メリットを享受いただけるからです。 ・サービスの安定性と継続性の確保 →DDoS攻撃やマルウェアの異常活動など、突発的なアクセス急増時にも機器のダウンを防ぎ、住民向けサービスや基幹業務システムへの影響を最小限に抑えます。 ・脅威に対する自動防御 →大量セッションを発生させる攻撃に対し、システム自身が自動で防御措置を取るため、管理者が即座に対応できない夜間・休日でも組織を守ります。	検討しましたが、原案のとおりとします。
112	調達仕様書（案）	別添3 情報セキュリティ要件一覧	116	その他	以下の仕様書案を、調達仕様書に含めてください。 FW全般に関する記述です。 ・ポリシーの使用状況や通信内容を分析し、既存のポリシーに対するポリシー最適化機能を有すること。	以下メリットを享受いただけるからです。 ・セキュリティホールの撲滅 →実際の通信状況に基づき、過度に許可されたポリシー（例：「Any/Any許可」）を、より安全で厳格なものに修正する提案を受けられるため、設定不備によるリスクを継続的に低減できます。 ・ゼロトラスト・セキュリティの推進 →「最小権限の原則」に基づいたポリシー運用を自動で支援するため、ゼロトラストの実現に向けた具体的な一歩となり、組織全体のセキュリティレベルを向上させます。 ・運用負荷の抜本的な軽減 →ポリシーの見直しや棚卸し作業を自動化・効率化し、セキュリティ担当者の本来注力すべき業務への集中を促します。	検討しましたが、原案のとおりとします。
113	調達仕様書（案）	別添3 情報セキュリティ要件一覧	116	その他	以下の仕様書案を、調達仕様書に含めてください。 FW全般に関する記述です。 ・IPv4/IPv6通信に対して、脆弱性防御、アンチウィルス、アンチスパイウェア、URLフィルタリング、ファイルフィルタ、データフィルタといったコンテンツスキャニング機能を、シングルエンジンで目つストリームベースで処理できること。	以下メリットを享受いただけるからです。 ・高いセキュリティと通信パフォーマンスの両立 →複数のセキュリティ検査を一度に（シングルパスで）処理するため、通信の遅延を最小限に抑制します。これにより、職員の業務効率や住民向けサービスの応答性を損なうことなく、高度なセキュリティを確保できます。 ・将来のネットワーク環境への対応 →次世代のインターネット接続方式であるIPv6環境においても、IPv4と同様のセキュリティレベルを担保でき、将来にわたって投資を保護します。	検討しましたが、原案のとおりとします。
114	調達仕様書（案）	別添3 情報セキュリティ要件一覧	116	その他	以下の仕様書案を、調達仕様書に含めてください。 FW全般に関する記述です。 ・カテゴリベースのURLフィルタリングを使用する際に、単一のカテゴリではなく複数のカテゴリによって制御することが可能であること。	以下メリットを享受いただけるからです。 ・柔軟かつ的確なWebアクセスポリシーの実現 →「SNSは禁止だが、公共機関の公式アカウントは許可」のように、複数のカテゴリを組み合わせることで、利便性を損なうことなく、きめ細やかなアクセス制御が可能です。 ・ポリシー設定の簡素化 →複雑なURLリストを手動で管理する必要がなくなり、カテゴリベースで直感的なポリシー設定が可能になるため、管理者の負担を軽減します。	検討しましたが、原案のとおりとします。

115	調達仕様書（案）	別添3 情報セキュリティ要件一覧	116	その他	以下の仕様書案を、調達仕様書に含めてください。 FW全般に関する記述です。 ・Webサイトのコンテンツ内容を機械学習によって装置上で検査し、未知の有害サイトへのアクセスをリアルタイムに遮断することが可能であること。	以下メリットを享受いただけるからです。 ・リアルタイムでのフィッシング対策強化 →攻撃者が作成したばかりの未知のフィッシングサイトを、その場で解析・ブロックし、ID/パスワードといった認証情報や個人情報の詐取を水際で防ぎます。 ・最新の脅威への即応性向上 →従来のURLリストの更新を待つことなく脅威を判断するため、攻撃の初期段階で職員が標的とされた場合でも、被害を未然に防止できます。	検討しましたが、原案のとおりとします。
116	調達仕様書（案）	別添3 情報セキュリティ要件一覧	153	その他	以下の仕様書案を、調達仕様書に含めてください。 EDR全般に関する記述です。 ・インシデントのコンテキストを機械学習により分析し、スコアリングして点数で管理者が重要度を把握することができること。（カスタマイズや要因説明を含む）	以下メリットを享受いただけるからです。 ・対応の優先順位付けと迅速化 →大量のアラートをAIが自動でスコアリングするため、対応すべき重大なインシデントを一目で把握でき、初動対応を迅速化します。 ・対応の標準化と属人化の排除 →重要なサーバや幹部職員の端末が関わるインシデントのスコアを高くするなど、組織固有のリスクに応じて重み付けをカスタマイズでき、担当者のスキルに依存しない標準化された対応が可能です。 ・調査の効率化と高度化 →なぜそのスコアになったのか、根拠となる要因（攻撃手法や影響範囲など）が示されるため、調査の方向性を即座に判断でき、分析時間を大幅に短縮できます。	検討しましたが、原案のとおりとします。
117	調達仕様書（案）	別添3 情報セキュリティ要件一覧	153	その他	以下の仕様書案を、調達仕様書に含めてください。 EDR全般に関する記述です。 ・内部ネットワークをスキャンすることで、ネットワーク上に接続されているプリンタや持ち込みPCなどのエージェント未導入の端末を発見することができること。	以下メリットを享受いただけるからです。 ・シャドーITの可視化と統制 →セキュリティ対策ソフトが未導入の管理外端末を自動的に洗い出し、組織全体のIT資産を正確に把握することで、セキュリティ上の「穴」をなくします。 ・セキュリティレベルの均一化 →未許可端末やエージェント導入漏れの端末を特定し、適切な対策を促すことで、組織全体のセキュリティレベルを維持・向上させます。	検討しましたが、原案のとおりとします。
118	調達仕様書（案）	別添3 情報セキュリティ要件一覧	153	その他	以下の仕様書案を、調達仕様書に含めてください。 EDR全般に関する記述です。 ・標準で最低31日分のログを保存することができ、ストレージを別途追加購入することで、ログの保管期限の1年以上に拡張が可能であること。	以下メリットを享受いただけるからです。 ・確実なインシデント調査（フォレンジック）の実現 →攻撃の兆候から発覚までに時間がかかる場合でも、十分な期間のログが保管されているため、原因や影響範囲の特定が確実に行えます。 ・各種ガイドライン・法規制への準拠 →「政府機関等のサイバーセキュリティ対策のための統一基準群」などが求めるログの保管要件を標準で満たし、監査にも的確に対応できます。	検討しましたが、原案のとおりとします。
119	調達仕様書（案）	別添3 情報セキュリティ要件一覧	153	その他	以下の仕様書案を、調達仕様書に含めてください。 EDR全般に関する記述です。 ・Webブラウザを利用して不正なURLアクセスや、不正なPDFファイルを開くなどの未知／既知の脆弱性を悪用する攻撃を検知して、メモリ上の悪意があるコードが実行される前に阻止することができること。（ネットワーク未接続状態でも動作）	以下メリットを享受いただけるからです。 ・職員のPC操作における安全性の確保 →職員が誤って不正なサイトを閲覧したり、メールに添付された不正ファイルを開いたりしても、マルウェア感染を未然に防ぎます。 ・テレワーク環境のセキュリティ強化 →庁内ネットワークに接続されていない状態（出張中やテレワーク中）でも保護機能が働くため、場所を問わずセキュリティレベルを維持できます。	検討しましたが、原案のとおりとします。
120	調達仕様書（案）	別添3 情報セキュリティ要件一覧	153	その他	以下の仕様書案を、調達仕様書に含めてください。 EDR全般に関する記述です。 ・業務アプリケーションなど、個別に開発されたアプリケーションに潜在する脆弱性を悪用する攻撃に対して、メモリ上のコードが実行される前に阻止することができ、業務アプリケーション単位で保護する／しないを調整することができること。（ネットワーク未接続状態でも動作）	以下メリットを享受いただけるからです。 ・レガシーシステム・独自開発アプリの保護 →パッチの提供が終了したアプリケーションや、修正が困難な独自開発アプリケーションの脆弱性を狙った攻撃を防ぎ、安全に利用を継続できます（仮想パッチ）。 ・業務継続性の担保 →アプリケーション単位で保護のON/OFFを設定できるため、万が一動作に影響が出る場合にも柔軟に対応でき、業務への影響を最小限に抑えられます。	検討しましたが、原案のとおりとします。
121	調達仕様書（案）	別添3 情報セキュリティ要件一覧	153	その他	以下の仕様書案を、調達仕様書に含めてください。 EDR全般に関する記述です。 ・端末上のカーネルデータ構造を変更し、脆弱性を悪用するエクスプロイト攻撃を阻止できること。	以下メリットを享受いただけるからです。 ・OSの根幹を狙う高度な攻撃からの防御 →OSの中核（カーネル）を直接狙うことで管理者権限を奪取するような、極めて高度なサイバー攻撃を阻止し、システムの完全な乗っ取りを防ぎます。	検討しましたが、原案のとおりとします。
122	調達仕様書（案）	別添3 情報セキュリティ要件一覧	153	その他	以下の仕様書案を、調達仕様書に含めてください。 EDR全般に関する記述です。 ・正規のツールを悪用した不審な行動を検知可能なこと（Powershell, ntdsutil, vssadmin, netshなどのOS標準ツールなど）。	以下メリットを享受いただけるからです。 ・ファイルレス攻撃・内部不正の検知 →マルウェアを使わず、OSの正規ツールを悪用して行われる「Living Off The Land (環境寄生型)」攻撃を検知し、内部での不正活動や情報窃取を早期に発見できます。 ・誤検知の削減 →正規ツールの「正当な管理業務での利用」と「攻撃者による悪用」を文脈から判断するため、不要なアラートを削減し、管理者は本当に危険な挙動に集中できます。	検討しましたが、原案のとおりとします。